

P2

サキーナ城の中で、美しい女の赤ちゃんが産まれました。王様とお妃さまは、アッラーの99の美名をとっても愛しておられました。その中でも特に、日本語で、優しい、寛大な（心が広い）という意味の「アル＝カリーム」というお名前がとっても好きだったので、赤ちゃんに、「プリンセス・カリーマ」という名前をつけました。

P4 プリンセス・カリーマは、お城の中でとってもかわいく優しい女の子に育ちました。だれか困っている人を見ると、すぐに助けてあげました。

毎朝、プリンセス・カリーマは、お城のお庭にやって来る可愛い小鳥たちに、エサをあげるのが大好きでした。

P6 ある日、王国の一番遠い町で大きな地震が起こり、たくさんの人が困っているというニュースが入って来ました。プリンセス・カリーマは、お父さんの王様のところに急いで行くと言いました。

「お父様、私、地震があった町に今すぐ行って、みんなを助けたいの、お願い行かせてください。」

王様は言いました。

「私の大切なプリンセス・カリーマ、行って助けてきなさい。でも地震のあった町はとても遠い。じゅうぶんに気を付けて行くんだよ。」

P8 プリンセス・カリーマは何人かの家来を連れて、朝早くすぐに出発しました。遠い町までの道はとてもけわしく、危ない道でしたが、プリンセス・カリーマは、あきらめないで勇敢に進みました。崖の上の道は特に細くて、一人が通るのが精いっぱいです。プリンセス・カリーマは、アッラーにドゥアーしました。

「アッラー、どうか私たちをお守ください。無事に町までたどり着かせてください。」

P10 ところが！山の中にある橋まで来た時、リーダーが叫びました。

「ああ、なんてことだ！町へ行くための橋が壊れているぞ！これでは、向こうに渡れない。。。」

P12 プリンセス・カリーマは、リーダーに聞きました。

「橋を直すのに、どのくらいかかるのかしら？」

「大きな橋なので、急いでやっても二日はかかるかと、インシャーアッラー。」

「困ったわ。地震に遭った人達に、早く薬や食べ物、毛布を届けなければならないのに。アッラー！どうか私達の旅を簡単にしてください！あなたのお力で、私たちを町まで届けてください！」

プリンセス・カリーマは、必死にアッラーにドゥアーしました。するとその時、

P14 見たこともないような大きなわしが空から舞い降りてくると、プリンセス・カリーマの前に翼を広げて降り立ちました。翼を広げたわしは、じっとプリンセス・カリーマたちが乗るのを待っているように見えました。リーダーが驚いて叫びました。「スプハーナッラー！！このわしは、アッラーが私たちをお助け下さるために、お送りくださったに違いない！！これに乗れば、薬や食べ物を遠くの町まできくと簡単に運べるぞ！！我々のうち、何人かは残って、橋を直してから行くことにしよう、インシャーアッラー。」

## P16

プリンセス・カーマは、迷わずにわしの背中に飛び乗りました。「ビスミッター」

大きなわしは次から次へとやって来て、プリンセス・カーマと家来たちと、食べ物や薬などをみんな背中に乗せると、遠くの町へ向けて飛び立ちました。「アルハムドゥリッター、アッラー本当にありがとうございます！あなたは何でもできる御方です！」

## P18

わしの背中の上で、リーダーはある出来事を思い出していました。

「そういえば何年前か前、プリンセス・カーマが、怪我をしてお城に迷い込んだ、わしの赤ちゃんを助けてあげていた。そうだ！あの時、プリンセス・カーマは、わしのあかちゃんに薬を塗って、何日かエサをあげていたらすっかり怪我が治って、アルハムドゥリッター、家族のところに戻してあげていた。このわし達は、あの時のわしの家族にそっくりじゃないか！スプハーナッター、アッラーは、いつも困っている人に優しいプリンセス・カーマのことをご覧になっていて、こんな大きなわしを送って、奇跡を起こしてくださった。アルハムドゥリッター。」

## P20

プリンセス・カーマと家来たちは無事に遠くの町に着くと、わし達は帰って行きました。アッラーは、他の人をいつも助けているプリンセス・カーマを、わしを使って助けてくれたのです。「ジャザークムッラーフ ハイラー。」プリンセス・カーマは、わし達に御礼を言うと、地震にあった人達のところに向かいました。

## P22

プリンセス・カーマと家来たちは、地震で怪我をした人達を助けて、薬や食べ物をあげました。

プリンセス・カーマは、アッラーに感謝して言いました。「アルハムドゥリッター、いつも私を善いことに使ってくださいありがとうございます。どうか私たちが、地震にあった方たちのために、たくさん働けますように！」

人々はみんなプリンセス・カーマが、遠くのお城からわざわざやって来たことにびっくりして喜びました。

「マーシャーアッラー、こんな遠い町まで来てくれるとは！なんてすばらしいプリンセスなんだ。私たちは、こんなに心優しいプリンセスは見たことがない。ジャザークムッラーフ ハイラー。プリンセス・カーマ、あなたにアッラーからのごほうびが沢山ありますように。」

## クイズ：

1. プリンセス・カーマは、いつも困っている人を見ると、助けていたので、本当に困った時に、アッラーが助けてくれました。
2. 遠い町まで行く途中、橋がこわれていたので、プリンセス・カーマは橋を直してから行くことにしました。
3. アッラーは、プリンセス・カーマが背中に乗ることができるくらい大きなわしを送ってくれて、遠くの町まで連れて行ってくれました。